

東串良町複合施設建設検討委員会 会議録

【会議名】

第3回東串良町複合施設建設検討委員会記録

【日 時】

2024年1月18日（木）13時30分～

【会 場】

東串良町役場 防災庁舎2階 対策本部室

【出席者】

- ・委員（15名）
柴田委員長、末村委員、村山委員、柳井谷委員、新福委員、甫村委員、野口委員、若松委員、重委員、宮野委員、吉田委員、立迫委員、丸山委員、尾方委員、上園委員
- ・町職員等（3名）
事務局（企画課）
- ・傍聴（10名）

【会次第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 協議・報告
- 4 閉会

【協議・報告】

- (1) 前回委員会のふりかえり
- (2) 総合センター、高齢者福祉センターの劣化状況調査の結果報告
- (3) 東串良町複合施設建設検討委員会視察研修の報告
- (4) 新たな複合施設の整備に係るアンケート調査の実施状況について
- (5) 新しい複合施設の立地場所について
- (6) その他

【会議結果要旨】

- ・施設の安全性については、建物自体の安全性だけでなく、避難性のことも考慮する。
- ・候補は③④⑤のエリアで、エリアを少し広めに捉えて、立地場所の検討を進める。
- ・町民の意識を高めていくため、小さな地域単位での住民説明会を検討してほしい。
- ・次回は3月26日（火）13:30とする。

【会議経過】

(0) 協議開始前

(事務局)

傍聴を許可してよいか。

(全委員)

異議なし。

(ランドブレイン)

WEB アンケートの回答 120 件余りを紛失した件についてお詫び。

(1) 前回委員会のふりかえり

意見なし

(2) 総合センター、高齢者福祉センターの劣化状況調査の結果報告

(委員長)

庁内検討委員会でも申し上げたが、総合センターの②は経年劣化かと思うが、①はタイルにクラックが入っており、⑥の地盤沈下も踏まえると、南西側が沈下しており、建物を使用するにあたり危険性の懸念があると考えている。③では塗り直しているところに再度クラックが発生しており、沈下があるのではないかと考えている。

高齢者福祉センターは⑨を見ると、仕上げ関係かもしれないが、伸縮に伴うクラックではこのような形は見られないため、建物が傾いてクラックが発生しているかなと考えている。

これらの施設を使われる間は観察しながら使った方が良く考えている。

(委員)

クラックは時間が経って発生するものなのか。

(委員長)

経年により、乾燥で伸縮等に伴うクラックが発生することがあるが、構造としての問題はない。一方で、建物自体が下がると、沈下に引っ張られてクラックが入ることがあり、喫緊の問題ではないが、これは構造的によろしくないということになる。

(3) 東串良町複合施設建設検討委員会視察研修の報告

(委員)

Miimo では、町内・町外、また商用かどうかにより、利用者に応じて利用料を分けているということだが、金額が分かれば教えてほしい。

(事務局)

今はすぐに情報が出てこないが、後々の参考にするため資料は入手している。

(委員)

それでは後々にお示ししてほしい。

(事務局)

今後整理して共有する。

(委員長)

平群町の施設は同じ敷地内に役場の建設が予定があり、二つの施設を一体的に使う考えがあるようで良いと思った。平群町は場所的に奈良県だが東大阪市に近いので、マルシェなどを開いても人が集まりやすいなど東串良と状況が異なる点はある。このように周辺の状況を踏まえる必要はあると思う。

三宅町の Miimo は人口規模が東串良と近く、また、建物としても良いと思った。また、職員さんが笑顔で若々しく、楽しそうで良いと感じた。元々あった建物のうち、おかしいところ、慣習は変えようという話があり、タダは良くないよねということで、利用者もお金を支払うことにしたところ、これにより利用者も施設に携わっていかうという意識が生まれるということである。最初は反発もあったが英断されたようだ。また、施設の運用を見越して建設プロセスを考えている点も良いと思った。学童保育クラブが入っており、子どもたちが学校が終わった後に集まって遊び、大人たちもそこで打合せしているなど、複数の用途が集まっており、多世代が交流できる。人が集まることで活性化するなど良い事例と感じた。

(委員)

施設したどの施設も、文化や人、立地に考慮しながら建てられたということが伝わってきた。一番印象に残ったのは、作るまでのプロセスが大事なのだということである。検討委員会だけでなく、町民の意見を聞くことが大切である。意見の全てを叶えることはできないが、そこを決めるのが運営側としてできることだと思う。これは必要ないよねということも合意形成していくことが大切だと思う。三宅町の Miimo は本当にスタッフがエネルギーを持っていて、私たちが町の皆さんと作っているという姿勢を持っていることに好感を持った。町の皆さんに、自分たちも関わっているんだと思ってもらえるようにできると良い。

(委員)

事例では、施設によって費用は違うということであり、維持費も必要な中で、収益でそれを賄うことは難しいという話が出ていたかと思う。また、建設の費用が上がっていることを聞いており、同じ施設でも費用が上がっているのであれば、本当に必要な施設だけを選んで作っていくことも必要かと思うがいかがか。

(委員長)

私としても、町の規模感に合うものを、という話をしている。神戸市の事例などはお金の部分は参考にならないと考えている。建築の費用は頭打ちにはなっているが上がっており、金額に大きく関わるのは規模になるため、協議の上で何が必要かという検討が必要になる。

(事務局)

規模感については白紙の状態であるため、今後協議して決めていきたい。アンケートの結果等も踏まえ、町の財政規模に応じて考える必要がある。住民説明会等で話も聞きながら、町民の求めている無駄のない、東串良町にとって良い施設にしていきたい。

(委員)

大人が笑顔になるには次代を担う子どもたちの存在が重要になる。子どもがいて、親がいて、そこにお年寄りがいて、世代間の交流ができるような空間もぜひ作ってほしいと考えている。

(委員)

先進地の視察に参加し、自分なりの質問事項を持って臨んだが、建設費用が当初の予定通り進んだか聞くと、建設費用が上がっているという話もあった。今後、この問題は出てくると思っており、施設の役割を明確化しながら進めていく必要がある。

(委員)

地域の中でも複合施設について話すことがある。アンケートの話をする、何人かは出したという話もあるが知らない人もいる状況である。町民みんなで作るという意識をどのように作っていくかということを考える必要がある。本日は傍聴者もいるが、そういう意識がある方々かと思う。このような意識を作るために事例ではどうされたのだろうか。

(委員長)

事例では、ワークショップでどういう施設にしていきたいかという議論を行い、その結果を発表する中で認知度が上がっていったという話があり、そういう取組は必要と考えている。

(委員)

町としてはそのような計画があるのか。

(事務局)

世帯アンケートで住民の意見が集まっており、調査結果を精査した上で4月には住民説明会を開催予定である。その後、住民ワークショップを開催予定。会場でも意見を吸い上げた上で、基本構想・基本計画を作成することを考えている。

(委員長)

ワークショップを行うなかで、住民が運営団体としてNPOを作るという展開になる事例がある。ただし、これはキーマンが居ないとなかなかできない。実際にそうなるか分からないが、参画する人が見つかる機会になると良いと考えている。

(委員)

新たに説明いただいた事例について、資料は提供してもらえるのか。

(事務局)

提供できる状態にしてから配布する。

(4) 新たな複合施設の整備に係るアンケート調査の実施状況について

(委員長)

アンケートの結果について、町民アンケートでは温浴施設を求める意見があるが、一方で職員アンケートでは温浴施設の問題点が挙げられており、求める意見も少ない。その理由と

して何が考えられるか。聞き方の違いがあったのか。

(事務局)

職員アンケートでは、職員として管理するという視点で意見をいただいているのかと考えている。使う側としては温浴施設があるとよいが、管理する側としては維持に係る費用や手間等の問題があり、必要なものとして挙げる職員が少なかったと考えている。また、設備の問題も起きやすく、実際に現地調査を行った際も設備の不具合もあったので、認識の違いが発生していると考えている。

なお、新たな複合施設に求めるものは、町民は選択肢、職員はすべて自由記述で聞いており、町民アンケートでは、温浴施設を回答した人が多かったが、職員は必要なものとして記載する職員が少なかった。

(5) 新しい複合施設の立地場所について

(委員)

最終的に町長決裁までのスケジュールとして、いつを想定しているのか教えてほしい。

(事務局)

3月の次回検討委員会で協議し、4月に住民説明会、6月に決定と考えている。

規模のことなどを踏まえた形で決定したいと考えている。

(委員)

4月に住民説明会ということだが、どういう形式を予定しているのか。集落単位での説明なのか、一括でどこかに集まって実施するのか。

(事務局)

3月の次回検討委員会で案を示すことを考えている。

(委員長)

どういう形式が決まっていないということか。

(事務局)

まだ決まっていない。検討委員会で案をお示しして、意見を踏まえ、方法を決定したい。

(委員)

3つのエリアが安全性という点では良いと思うが、歩いて避難が出来る場所かどうかという点も大切である。総合センターは近隣から歩いて避難が出来るから良い。その場所までのアクセス手段も意見も考慮されてのことなのか。

(事務局)

公共交通の在り方も並行して検討する予定である。その中でカバーできればと考えている。

(委員)

どこの場所に決まってもその点は十分に配慮してほしい。本当の意味で町民が利用しやすい場所、便利な場所という配慮をしてほしい。

(委員)

総合センターについて地盤沈下が怖いという話があった。建てる場所の地盤を考慮しなくてもよいのかなと思った。

(事務局)

地盤の状態については、近隣の公共施設等の地質調査のデータを検討資料として参考にご提案させていただく予定である。

(委員長)

私も地質データという話をされていて、町は串良川、肝属川、汐入川に挟まれているが、地形的に見たときに、総合センターの立地している場所から 1 段上がった東側は、地盤は良いと推察される。候補エリアは円形の範囲ではなく、地形を考慮して場所を決めた方がよいと考えている。

(事務局)

町としても、企画課だけでなく、建設課などと協力し、地形も考慮しながら候補地を抽出していきたいと考えている。

(委員長)

先ほど話が出た公共交通のルートもあると考えている。施設が出来ることで新たにバス停も出来ることはあるだろうか。その場合、周囲の住民の利便性も上がるということは考えられるだろうか。

(事務局)

町内には国道沿いのみバスが走っており、朝夕の高校生が利用している。タクシーは 1 社で運転手が 2 人で対応している。今後、公共交通のあり方を検討し、町内全域でどのようにフォローアップできるのか考える必要がある。

(委員長)

総合体育館の周辺は肝属川洪水浸水想定区域に入っていないように思うがいかがか。

(事務局)

図中の円の取り方によって南東側など周辺の一部は入ってくると考えている。候補地は肝属川洪水浸水想定区域の範囲外で検討する。

(委員長)

③④⑤のエリアが候補として挙がっているが、総合センター周辺のうち 541 号線から西側や、役場の西側など地盤が悪いところは避けた方がよいと思うものの、それだけでエリアを判断するのはどうかと考えており、これを踏まえて候補地を絞っていくと良いように思うがいかがか。

(委員)

先ほど先生の話があったとおり、池之原小学校も避難地区となっているため、池之原小学校の近くも候補として挙げてはどうか。

(委員)

町内には柏原地区もあり、そこから見ると池之原小学校周辺は遠くなる気もする。

(事務局)

立地場所の選定についてのアンケート結果を見ると、総合体育館周辺、国道周辺、役場周辺という回答は多かったが、あくまでそのまま総合体育館の敷地などではなく、円で示しているとおりの周辺の一部を表しており、当然地盤等のデータも踏まえて抽出していく。このアンケート結果には柏原地区の町民の意見も含まれており、池之原地区に寄り過ぎた場所になると、今後の利用において偏りがあるという考え方も出てくるかと思う。一方で一番回答の多かった総合体育館周辺だと町の中では真ん中付近であるとも考えている。アンケートの選択肢を検討した時点で他の選択肢の話が出てくればよかったが、アンケートの結果としてこのような意見が出てきており、かつ他の視点でも比較した中で 5 つの項目からピックアップしているのが現状であると思っている。

(委員長)

防災マップについて言うと、肝属川の洪水浸水想定区域は避けるということであれば、柏原小周辺は適さないということになると思うが、エリアの取り方は変わってくるかと思う。既存施設の周辺というよりは、理由付けというか、プロセスも含めて考えていただいた方が良いかと思う。

(事務局)

柏原地区周辺も検討対象に入っていたが、汐入川では橋の耐震補強工事を行っている。10本ほど古い橋があり、南海トラフ大地震が発生した際は、落橋により柏原地区一帯は孤立するかもしれないとされている。複合施設を防災拠点としても運営するにあたり、南海トラフ大地震、肝属川を遡上する津波の災害リスクを踏まえて候補エリアをリストアップしていることを考慮していただければと思う。

(委員)

確かに汐入川は橋の落下の恐れがあるということで、柏原地区から総合体育館までは行けないだろうか。社会福祉協議会の立場からは、場所的には、老人福祉センターの施設の周辺に作ってほしいという要望がある。地震の際は逃げるのには山が良いということで、一住民として、柏原地区から安留を通過して逃げる場所としても老人福祉センターの場所がいいのかなと考えている。

(事務局)

色々意見をいただいているが、大地震の際にどの橋が崩れるか分からないということもあり、防災マップでは、内陸部に避難いただくということで矢印はあるものの、ルートを特に指定していない。南海トラフ大地震については液状化の問題などもある。複合施設については、利便性を向上し、皆さんに気持ちよく楽しく使ってもらうというのが第一にあり、いざ災害の際には防災拠点の核となる施設にもしていくことも踏まえ、ある程度標高を確保できる場所が重要ではないかと考えている。また、アンケートでは立地について細かい場所ではなく大まかに示しており、国道 220 号線周辺と言えば池之原小近くも含まれ、総合体

育館周辺と言っても真横に限定しているわけではない。複合施設は多くの方が利用されるため駐車場の確保が必要であり、土地の確保も問題になる。例えば多くの方が所有している土地を確保するとなると用地交渉が難しいこともある。まずはアンケートでは大まかな範囲をお示しして、結果が出ているため、これを重視して、防災拠点施設になることも考慮して絞り込みを行いたいと考えている。

(委員長)

現在示されている安全性の確保は、建物の安全性という視点かと思うが、避難性からの安全性という視点も含めていただけると良いかと思う。ただ、そのみの判断ではなく、土地の取得性や広さ、アクセスなど総合的な評価軸で判断することになると思う。

(事務局)

先ほどのご説明にあったとおり各候補エリアを広く取っている。各候補エリアの中から場所を決めていくにあたり、その場所が実際に防災上安全かという点については、土地・建物のことはもちろん、周辺からの避難機能も含めて、絞り込んだ各場所を比較して評価しなければならないと考えている。

(委員長)

①②③④⑤の候補エリア以外も含めて検討はできるのだろうか。

(事務局)

アンケートの選択肢を検討する段階で浮上した話であれば別なのだが、アンケートで立地についての回答が出てきており、候補エリアの抽出に組み込んでいる。先ほどお話にあったとおり各エリアを広く取っており、避難性のことも追加して次回お示しすることは可能と考えている。また、複合施設は防災拠点も兼ねるのだが、まちづくりの拠点施設としてスタートを切っており、新たに別の場所を加えるのはどうかと考えている。

(委員)

先の検討委員会でアンケート調査の立地場所の選択肢について示されて、この結果が上がってきている。町民の声として、その他に、自由意見で他の場所に関する意見は出てきていないだろうか。

(事務局)

その他の意見としては1%台程度あり、柏原地区などもあるが割合で言うと少数意見となっている。

(委員長)

避難性など考慮してほしいという視点が挙がっており、候補エリアを5つから3つに削って、プラスで候補になる場所を検討して1つか2つか候補になる場所を挙げるのか、もしくは進みは遅くなるが、この視点の中から候補となる場所を全町域の中から出していただくということはどうか。5つのエリアについてコンセンサスが取れている中で3つのエリアに絞り込むことであればよいが、5つのエリアを選ぶにあたり、柏原小学校の近くなど、他のエリアがないので決断ができないと思っている。ご意見いかがか。

(委員)

色々考えても、広さも必要だし、ということも考慮すると、この3つに絞られるのかなという気もする。

(事務局)

大体考えられる場所について、検討委員会の中でも、アンケートでも提案差し上げて、ある程度審査いただいたところである。大まかにある程度絞り込んでいかないと、なかなか具体的な場所の検討に進めないのではないかと考えている。

池之原小周辺という話も出たが、大きな括りとして、国道220号周辺という捉え方もできると考えている。柏原地区周辺は標高も低く、そういったことを考慮し、また、アンケートに回答いただいた方の結果を踏まえると、この3つに絞り、エリアを広く捉えて考えてはいかないと考えている。

(委員長)

この3地区で検討いただくということによろしいでしょうか。

(委員)

自分たちも前回の検討委員会で場所については5つが示されて検討しており、町民アンケートにおいて、この5つの中から結果が出ることを期待してきた。そのため、この結果の中から決めていくということの良いのではないかと思う。

(委員長)

もし特にご意見なくてよろしいということであれば、この3地区で進めていきたいと思う。

(委員)

場所の選定についてはではないが、アンケート回収率の33.7%という数値はどうなのか。

(事務局)

ランドブレインの実績からの情報としては、他の自治体の傾向を見ても4割の回答を超えることはなかなかなく、ほぼ3割ということで、他の自治体と同程度の回答率をいただいたのではないかと考えている。

(委員長)

候補は③④⑤のエリアで、エリアを少し広めに捉えていただくということでよいか。

(全委員)

よい。

(委員長)

それでは、それで進めていただきたいと思います。

(委員)

アンケートの回答が3割というのは町民に対して宣伝が足りなかったと思う。要望になるが、要は住民説明会が大事だと思う。振興会のような小さな単位で実施すると町民の意識も変わってくるのではないかと思う。

(事務局)

事務局として検討していきたい。

(委員長)

集まっていたいでアンケートすることも考えられる。大学でも授業評価アンケートを実施しており、学生はなかなか回答しないが、授業の場での回答であれば回収率は上がる。

(6) その他

(事務局)

日帰りの視察については薩摩川内の施設をと考えているが、施設の完成が4月頃となっており、4～5月に実施を検討したいと考えている。決まり次第周知したい。

(委員長)

今回は3月26日13:30とする。